

週刊NYジャピオン321号 09/23/05

米国医療の先端を斬る — カイロの不妊治療効果 —

脳と体を結ぶ神経機能を改善

妊娠に必要なホルモン分泌に効果

15人中14人が妊娠

米国生殖医学会の調べで、米国だけで610万人が悩んでいるという不妊。出産年齢を迎えた女性の10%が妊娠できない状態にあり、問題は身近で深刻だ。そんな中、カイロプラクティック治療(カイロ治療)による不妊治療効果が見直されている。不妊で悩む女性がカイロ治療を受けて妊娠した例は、従来も知られていた。だが、昨年2月、カイロ治療と妊娠の関係を調べた論文が数件発表され、テレビでも紹介されたため、注目度が一気に増している。不妊女性15人を対象に行った調査では、14人が妊娠し出産した。女性の中には10年以上も妊娠できなかった人もいたという。カイロ治療で背骨に生じた歪みを治したら、生殖機能が改善されたというのが成功の説明だ。

科学的な検証はこれから

この論理を理解するには、カイロ治療とは何かを知っておく必要がある。カイロ治療は、背骨の関節の不整列と、それによる神経の圧迫が原因で体の機能に異常が起きた状態「サブラクセーション」を見つけ出し、関節を手で矯正するのが基本だ。神経に問題があれば、脳の指令が体の各部にうまく伝わらないため、様々な痛みや機能障害、免疫力低下の原因になる。

江川先生によると、サブラクセーションがホルモン分泌機能の低下を招き、不妊の一因になっているという。この場合、サブラクセーションを矯正すれば、副次的にホルモン分泌が正常になり、妊娠に適した状態になるということだ。症状の進み具合によって個人差はあるが、サブラクセーションの治療期間は、半年から2年が目安だ。

江川先生自身も、患者が妊娠した例を何度も見てきた。カイロ治療と妊娠の関係は今後も一層の研究が期待されている。「患者、医師、カイロプラクターが必要に応じて協力し、治療を進めることが大切です」と先生は話している。

(大村智子)